

## ◆ 平成28年度 旭川寮歌祭 開催報告

去る7月2日（土）、旭川グランドホテルにて毎年恒例の「旭川寮歌祭」が開催されました。今年で13回目となる本会の参加者は全17名、S20年代入寮の大先輩たちの欠席が目立ち始めたのは誠に寂しいですが、S60年入寮の宜寿次さんが初参加され、昭和50年代以降の世代が年々増えているのはうれしい限りです。

北海道支部からは昨年に引続き大谷幹事が、またスペシャルゲストとして中瀬名誉会長にご参加いただきました。中瀬名誉会長は旭川西高のご出身、お母様を亡くされたのも当地とのことで「あまり良い思い出はないが、いつか行こうと思っていたら二川さんに誘われて」数十年ぶりに来旭されたとのことでした。

S48年入寮の宮崎幹事の司会の下、乾杯の後は恒例の「近況スピーチ」を行いました。今回は20年代入寮の参加者が6名居られましたが、それぞれゴルフや水墨画、樹木医等のライフワークを持たれている方ばかり。また参加者がS50年代以降に入寮した方は応援団OBが中心で、更に日頃からランニング等に精力的な方が多く、そのためか3本用意した「清酒 都ぞ弥生」があつという間に空になりました。年に一度心おきなく寮歌を歌いたいという熱気で、料理もそこそこに寮歌高唱の部に移りました。

「タンネの氷柱」や「藻岩の緑」等のアップテンポの寮歌から、「時潮の波の」や「湖に星の散るなり」等のしみじみとした曲まで十数曲を歌い、それぞれの寮生時代に戻った2時間でした。最後に皆で肩を組み都ぞ弥生を歌った後、来年7月1日（土）に集うことを誓い散会しました。



中瀬名誉会長が初参加



思い思いの寮歌を高唱



S50年代以降の参加者が増えました

